

大きな荣誉に2法人が輝く

ま
ち
の
話
題

町に、言葉では言い表せないほどのすばらしい快挙の報が舞い込みました。

有限会社瑞宝(代表・三上新一氏)の農林水産祭農産部門「天皇杯」受賞と、有限会社ケイホットライス(代表・荒関敬悦氏)の「田中稔賞」受賞です。

農林水産祭「天皇杯」は、宮内庁を通じて下賜される25個の天皇杯の1つで、農林水産大臣賞(514点)を受賞した団体の中から、厳正な審査を経て選定される非常に貴重な賞です。

一方「田中稔賞」は、「奇跡の稲」と評価された耐冷多収品種「藤坂5号」を育成した元県農業試験場長 田中稔氏(故人)の業績にちなみ、顕著な功績があった稲作農家に贈られます。

天皇杯を受賞した「瑞宝」代表の三上新一さんは、昭和38年から自然農法による水稻栽培を試験的に開始。その道は苦難に満ちていましたが、平成5年の大冷害の時でも、自然農法で平年作を確保するなど、徐々に軌



天皇杯を受賞した三上さんご夫妻

道に乗り始め、近年の食の安全に対する消費者意識の高まりなどから、三上さんの農法は自ずと脚光を浴びました。そして、今回最高賞ともいえる荣誉を手に入れました。

田中稔賞を受賞したケイホットライス代表の荒関さんは、昭和52年から稲わらすき込みによる土づくりを始め、その後産直を始めます。県内の生協などに販売をしながら、米の化学合成農薬・肥料の不使用栽培、直播



「田中稔賞」を受賞した荒関さん(中央)

栽培などを行い、生産・販売・改良などトータルな業績が評価され、今回の受賞となりました。三上さんは、このたび天皇杯を携えて町長室を訪れ、その喜びを報告しました。

社会福祉協議会から

～善意ありがとう～

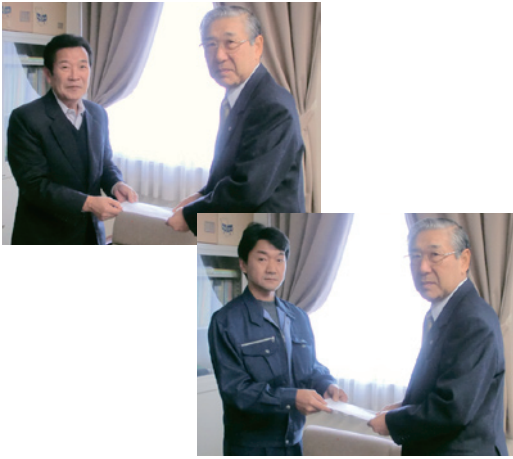
有限会社 北西ファーム
津軽開発協同組合

「町の社会福祉事業に役立ててください」と今年度も引き続き、寄附をいただきました。

「津軽開発協同組合」様(理事長・竹内忠義)からは、「建設産業新分野進出企業フェア」での収益の一部を、「有限会社北西ファーム」様(工場長・田中義彦)からは、なかどまり町民祭に出店した際の収益金の一部を寄附していただきました。

この度いただきましたご寄附は、町の地域福祉推進のため、社会福祉協議会の事業に有効活用させていただきます。

どうもありがとうございます。



国防の大切さを知ってもらうために 自衛官募集相談委嘱状交付式



11月24日(火)、町長室で自衛官募集相談員の委嘱状交付式が行われました。

「自衛官募集相談員」とは、志願者に対して、広報などの援助活動を行う方々です。

町長からは、「5人の皆様は、自衛隊についてご理解・ご精通されている方々です。これからの自衛隊を担う人材を、1人でも多く募っていただくようお願いいたします。」と、相談員を激励していました。

今回相談員として委嘱した方々は、成田寛さん(中里)、大川幸勝さん(中里)、田中秀一さん(中里)、今信博さん(小泊)、角田廣さん(小泊)。任期は、昨年11月24日から2年間です。

地域スポーツ振興に貢献

12月10日(木)、多年にわたる地域スポーツ普及の功績が認められ、表彰を受けた加藤豊さんが、教育長に受賞を報告しました。

加藤さんは、昭和59年から町の体育指導員を務め、このたび全国体育指導委員連合から表彰を受けたものです。

加藤さんはスキーが趣味で、少年少女にスキーを教える教室講師を務めるなどしており、その指導歴は30年以上に及びます。



また、近年はグラウンドゴルフやユニカルなどのニュースポーツの普及にも貢献されました。
受賞おめでとうございます。

功績たたえられ 表情も晴れやか 中泊町善行・功労者表彰式

町に対して貢献された方々を表彰する「善行・功労者表彰式」が、11月26日(木)、総合文化センター「パルナス」で執り行われました。



町の各種委員を永年勤めた方やふるさと納税・人命救助で功績があった31人の方が表彰されました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

- 山内つぎ子(保健協力員28年)
- 佐藤 スミ(保健協力員28年)
- 大石 和子(保健協力員28年)
- 和田 セコ(保健協力員34年)

- 今野 柳子(保健協力員34年)
- 角田 安子(保健協力員26年)
- 太田 京子(保健協力員26年)
- 佐藤 眞子(保健協力員39年)
- 奈良有美子(保健協力員24年)
- 柏崎ミヤ子(保健協力員39年)
- 藪田 久枝(保健協力員39年)
- 長谷川富士子(保健協力員28年)
- 成澤 チヤ(保健協力員34年)
- 佐藤 章(小泊地区食品衛生協会指導員39年)
- 西山 徹(文化財審議会委員27年)
- 柳澤 良知(文化財審議会委員21年)
- 磯野 清三(社会教育委員21年)
- 青山 兼弘(体育指導委員28年)
- 太田 康子(体育指導委員32年)
- 佐藤とみ子(体育指導委員32年)
- 工藤 篤(体育指導委員32年)

剣士の気合いこだまする

今年で16回目を数える「新潟精強争奪剣道大会」が、11月29日(日)町体育センターで行われました。



小中学生の少年・少女剣士約220人が参加し、会場は熱気に包まれていました。

試合は個人戦が一本、団体戦が三本勝負。個人戦は特に、一本ですべてが決まるとあって、緊張感と気合いがみなぎる好試合ばかりでした。

町関係の上位結果は次のとおりです。

- 小学校5・6年の部団体
第2位 権現少年剣道クラブ
- 中学校男子の部団体 第2位 小泊中学校
- 中学校女子の部団体
第3位 中里少年剣道クラブ

苦勞した味は格別

公民館で

そば打ち

体験教室

中央公民館で11月28日(土)、「そば打ち体験教室」が行われ、18人の方が参加しました。

教室の講師を担当したのは、町教育委員会の熊木教育次長。自身の趣味を生かして、昨年に



- 加藤 豊(体育指導委員25年)
- 宮越 優子(体育指導委員24年)
- 毛内 基晴(体育指導委員21年)
- 平山 永均(ふるさと納税寄附)
- 平山 成均(ふるさと納税寄附)

- 長谷川 統(人命救助)
- 成澤 清志(人命救助)
- 成澤 清明(人命救助)
- 磯野 正則(人命救助)
- 赤石 公雄(人命救助)

引き続き、皆さんに教えました。教室では、はじめに熊木講師が一連の流れを実演。その後参加者がそば打ちに挑戦です。なかなか根気と繊細さがある作業ですが、悪戦苦闘しながら全員が無事にそばを仕上げました。そば打ちが終わった後は、その場で湯あげて試食。自分の打ったそばを食べるのは初体験の人も多く、そばの太さはバラバラでも、味はいつもよりおいしかったとか。参加者からは、「味は(グー)、最高!」「次回も参加したい。」といった声が聞かれました。

そば打ち教室は2月にも行われます。くわしくは、次ページをご覧ください。